

「仙台牛」買参人にPR

産地銘柄確立買参者交流会

本JA肉牛部会は6月4日、JA古川「仙台牛」産地銘柄確立買参者交流会をホテルメトロポリタン仙台で開きました。買参人と部会員の交流を通じて生産意欲向上と販売強化に取り組みました。交流会では、同部会の千葉孝彦さんが育てた「仙台牛」のステーキやにぎりずしを振る舞い、買参人との交流を深めました。

翌日の同部会第55回肉牛枝肉研究会では、出品した30頭のうち20頭がA5等級で「仙台牛」に格付けされました。仙台牛率は66.7%で前年同様の比率となりました。チャンピオン賞には、三本木地区の小高和彦さんが育てた牛が選ばれました。



写真上
仙台牛のにぎりずしを
味わう参加者

写真下
参加者に振舞われた仙
台牛のステーキ



ソラマメ適期収穫を

そらまめ部会出荷査定会



出荷規格を確認する部会員

本JAそらまめ部会は6月7日、狐塚野菜集出荷所で出荷査定会を開きました。出荷規格や平成30年度の販売情勢などについて確認しました。

部会員が「仙台そらまめ標準出荷規格」に基づき、計量区分や品質区分、箱詰め方法など現物を見ながら確認しました。

鈴木求部会長は「今年は収穫前の天候に恵まれ、粒のはりが良く病気も少ない。現在は高単価で取引されているので、このまま良い品質のものを出荷したい」と話していました。

本JAの担当職員は「ソラマメは出荷期間が短いので、適期収穫に努めてほしい」と呼び掛けました。

同部会員数は13人で作付面積は174アール、6月5日から出荷が始まり、この日は132箱（1箱4キロ）を出荷しました。

スポーツで親睦深める

女性部スポーツ大会

本JA女性部は6月4日、三本木ボウリング場で、今年度最初の事業となる「JA古川女性部スポーツ大会」を開きました。参加者はスポーツを通して、組織の活性化と部員同士の親睦を深めました。佐々木隆子部長は「点数にこだわらず、他の支部の方との交流を大切にしながら楽しみたい」と挨拶しました。

この日は、12支部から78人が参加。大会はボウリング2ゲームの合計スコアで順位を決定しました。今大会は、敷玉支部の佐々木恵子さんが優勝しました。

主な順位は次の通り。（敬称略）

- ▽1位 佐々木恵子（敷玉）
- ▽2位 相澤美代子（三本木）
- ▽3位 鹿野明美（富永）



12支部から78人が参加しました